

野生動物との関わり

日本に農耕が始まって以来、日本人は人は野生動物と深く関わりをもつて暮らしてきました。

その接点は主に農業生産活動にあったと思います。農耕と野生動物との日々の関わりが、「猪垣」などが現代に残されているように、生活様式や文化にまで影響を及ぼして来ました。近代になり農民以外の一般民衆が、野生動物に日常的に関心を持つようになったのは、江戸時代末期庶民が癒しを求めて野鳥を飼う、空

前の野鳥ブームが原因の一つに揚げられます。これは野鳥を捕らえ飼育し繁殖成績や鳴き声を競わす風習で、一般庶民の間にもはやされ明治・大正・昭和初期まで続き飼鳥は伝統文化の一種にまでなっていました。昭和9（1934）年中西悟堂が日本野鳥の会を創立し、「籠の鳥を解放し野鳥の観察と研究は野外で」をスローガンに野鳥ブームをもたらし、一般の関心が野鳥に向けられ飼鳥は法により規制され下火になって行きました。

戦争のため日本野鳥の会も廃れ、戦後、公害と自然保護の波にのり1970年代、再び野鳥ブーム再燃し現在に至っています。

日本で自然保護活動が活発化したのは1960年～1970年です。これまで自然動物との関わりはなおざりにされていたが、ジョイ・アダムソンの「野生のエルザ」

邦訳刊行が発端で、京都大学の類人猿の研究が始まるなど野生獣への関心が高まって行きました。

因みに、エルザ自然保護の会は、1976年に設立されています。

国内では、ニホンサル

の研究をかわきりにイリ

オモテヤマネコ・ニホン

カモシカ・ゼニガタアザ

ラシ・キタキツネ・ツキノ

ワグマ・ヒグマ・ニホン

カワウソ・ムササビ・ニ

ホンジカ・タンチョウ

等が脚光を浴びるようになり

ました。

一方鳥類も趣味の段階

から本格的な研究の時代

に入り始めました。日本

人と野生動物との関わり

の歴史は、大まかに言っ

て以上のようなものだと思

います。

今日、直面している野

生動物とのトラブルの原

因の一つは「人間のた

めの自然保護」で、野生動

物の生息域を縮めてしまっ

たことが揚げられます。

これには、「人間が生

きていくため」と言う大

義名分がついています

が、野生動物の立場から見

ると大きな自然破壊に繋が

っています。

動物の視点から見た自

然の価値観は、本来は動

物である人間が生存する

ためにも不可欠のもので

なければなりません。

冬が来る前に！

「何をやってもあか

ん！」と、あきらめて

いませんか？本格的な冬

を前に、周りを再点検し

ましょう。

意識しない餌付け

■一般に稲や大豆は、手

間がかからず労働時間が

少なく、ほ場での人の気

配が絶えるえる時間が多

い作物だと言われている

す。また、農業の機械化

が進展しほ場で作業する

時間も少なくなり、田畑

で人の姿を見かけること

がめっきり減ってしま

ました。

野生動物にとって田畑

はレストラン状態です。

いずれの作物も幼苗期

から収穫期にかけて被害

をうけます。なかでもシ

カの被害は幼苗期に多く

発生しますが、大きな実

被害に至らないことが

柿の実は全て収穫。

★田んぼは秋鋤を行ない

二番穂は出さない。

★野菜くずを畑に放置し

ない。

★柑橘類にはネットを。

★防護柵の点検。

雪の重みで柵が倒覆す

ることがあります。十

分な点検・補修を。

■放任の庭先のミカン

は、山野でエサが少なくな

る冬にサル、タヌキ、ハク

ビシン、アライグマなど

多種多様の野生動物のエ

サ場となります。

柑橘類は日持ちするた

め落下果実や投棄果実も

長期間に亘ってエサ源と

なります。残さの捨て場

や放任してあるミカンに

サルの群れを見ながら

「あそこにいるなら、う

ちは安心だ」と看過しが

ちですが、これは人慣れ

を助長する行為です。

必ずみんなで追い払っ

てください。ハッサクな

ど収穫しない柑橘類を多

く見かけますがこれも餌

付け行為だと認識して下

モンキードッグに取り組んで

名張市議員

常俊 朋子 氏

私が、モンキードッグに愛犬を登録したのは、団地内にニホンザルが出没することで、「子ども達が危険な目に合う」という怖さからです。名張市が、宇陀市との広域鳥獣害対策の一環として打ち出したモンキードッグ養成講座で、愛犬家の皆さんとお知り合いになり、赤目や室生、三本松などでのニホンザル以外の鹿や猪、外来獣の被害を改めて認識することになりました。

ご高齢の方の楽しみである野菜作りや、農

作物で生計を立てていらっしゃる方々の被害を知り、「この仕組みをもっと有効に」という皆さんのアイディアに賛同いたしました。

野良犬から立派なモンキードッグになった子もあり、犬たちへの愛情が人間の役立つ「使役犬」へと変われることも実感いたしました。

鳥獣害の対策にはいろんな形での取り組みが必要かと思うところであり、犬たちのレベルアップの必要性を感じております。

今後も地道な活動ではありますが、広域・世代間交流・男女共同参画など様々なテーマにもかかわっており、有意義な活動として広がっていくことを願っております。

共生

人の立場からいうとサル

をはじめとする野生動物

は、いない方がいいと思

いますが、しかしシカ、

イノシシ、サルは日本を

代表する野生動物で、生

態系の重要な構成員でも

あり、多様性に富んだ豊

かな自然環境が維持され

ている指標でもあるわけ

です。

先人達の自然との関わ

りの歴史を見ると、貴重

な自然資源として持続的

に利用してきた歴史があ

ります。人と野生動物と

の間には痛み分けと言う

普遍的な関係があり、共

生をしてきました。

共生には、お互いに痛

みがあり、その痛みが何

処まで許容できるかとい

うことになるでしょう。

両者が1円の被害も出

さないというような考え

では共生は難しいでしょ

う。

昔から農作物をめぐっ

て、人間は野生動物と戦っ

てきました。残念なが

ら、現状は野生動物に押

されがちです。中山間地

の農家に、野生動物を追

い返す力がなくなったこ

とが、被害の増加にもつ

ながっています。

人と野生動物が、適度

の緊張感をもちながら共

生できる環境を、早急に

つくっていく必要があります。

今後は、個体数管理や

防護柵設置などの被害管

理に加え、人と野生動物

が棲み分けのできる森づ

くりが求められています

野生動物育成林整備

兵庫県では野生動物に

よる被害が深刻な地域の

森林を対象に、バッファ

ゾーン（見通しの良い地

離れザルについては1、2匹で、通常は本隊とはあまり離れずに移動しています。3～4匹の群れは数が少なくても離れではありません。本隊の先遣隊か、しんがりを務めるサルたちです。近くには必ず本隊の大きな群れがいると思って間違いありません。一匹の離れでも本隊を誘導してくることもありますので、少数だと思い油断しないでください。

名張鳥獣害問題連絡会 こんなこともやります！

今一番求められ、不足しているのは、農家と役所をつなぐコーディネータのような人材です。農村の被害状況を理解した上で、被害対策のための補助金制度や被害防止技術の効果的な導入を提案することができる人が不足しています

農家は役場が何とかしてくれるだろうと受身の姿勢です。このような状況に対して具体的な行動や提案ができる人材が必要です。野生動物の保護管理のためのことなら何でも引き受けます。今の時代はNPO法人のようところがそれを担うのですが、名張ではこのような活動を目的にしたNPO法人は、まだありません。

公的研究機関に関しても、もっと農家の声に耳を傾けた対策をしてもらうよう働きかけます。中山間では、農作業を生き甲斐にしている高齢者がほとんどです。この人達の思いが、保障されるような制度にしなければいけません。

やまだのかかし何でも引き受けます！

ペットを飼っている皆さんへ

捨てないで！！

赤目町内で9月の『動物愛護週間』前後に「シヤム系の子猫」が昨年2匹、今年3匹が捨てられ、目を背け、耳をふさいで通り抜けた方もおられたと思います。捨てた方にもおぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

おぼれて死ぬという想像が親猫の飼い主に出来な

いはずはないでしょう。捨てられた子猫たちは農道で野生動物の餌食になるか、あるいは水路で

緊急投稿

M・D・C

畠山

ひさ子

★ペットを、逃がしたり捨てると、生態系を乱し、大きな自然破壊に繋がることを忘れないでください。特に外来種は：